

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	01	124010	非核平和推進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		55	3		-52
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	55	3		-52

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

青少年の社会教育
----------

事業開始の背景・経緯

非核平和都市宣言を平成18年3月に議決し、その考え方を普及するため、非核平和学習会等の事業を展開している。
---

事業概要

<p>非核平和学習会の開催 2千円                      新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止                      非核平和学習会感想文集の発行 0千円                      非核平和学習会の開催中止に伴い実績なし                      平和教室等の開催 1千円                      非核平和に対する意識を醸成するため、学童クラブにおいて平和教室（紙芝居、平和ビデオ上映会、平和ポスター展）を開催したほか、非核平和展（平和ポスター展）を開催                      平和教室1回開催（合計35人参加）                      非核平和展を花巻新渡戸記念館にて4日間開催（期間中の花巻新渡戸記念館の入館者数111人）</p>
--

担当部署	03150000 総合政策部 総務	担当課長	瀬川 文彦
------	-------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

- 1 非核平和学習会の開催 2千円

概要  
 例年8月5日・6日の2日間、市内小学生（5、6年生）9名を被爆地広島市に派遣し、戦争の恐ろしさを自らの目や肌で感じる機会として非核平和学習会を開催しているが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止

経費  
 18節 平和首長会議負担金 2,000円  
 （核兵器廃絶と恒久平和の確立に取り組む平和首長会議の事業趣旨に賛同し、メンバーシップ納付金を負担）  
 合計 2,000円

平和首長会議  
 代表者 会長 広島市長 松井一實  
 事務局 公益財団法人広島平和文化センター  
 加盟都市 166か国・地域 8,134都市（うち国内1,736都市） 令和4年4月1日現在
- 2 非核平和学習会感想文集の発行 0千円

概要  
 例年非核平和の普及啓発として非核平和学習会に参加した小学生の感想文集を発行し、市内小学校5年生及び6年生に配布しているが、非核平和学習会の開催中止に伴い実績なし。
- 3 平和教室等の開催 1千円

概要  
 非核平和に対する意識を醸成するため、学童クラブにおいて平和教室を、花巻新渡戸記念館において非核平和展（平和ポスター展）を開催した。

経費  
 11節 通信運搬費 平和ビデオ上映会に使用するDVDを借用した際の郵送料 1,091円  
 合計 1,091円

平和教室の開催実績  
 H26年度 2回（湯口中、太田小）  
 H27年度 1回（新堀小）  
 H28年度 1回（新堀小）  
 H29年度 1回（新堀小）  
 H30年度 1回（新堀小）  
 H31年度 1回（新堀小）  
 R2年度 7回（花北中学校、西南中学校、花巻学童クラブ、花巻地区コミュニティ会議、笹間地区コミュニティ会議、成島振興地区コミュニティ会議（2回開催））  
 R3年度 1回（湯本学童クラブ）

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	03	02	04	134660	少年センター運営事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		3,384	3,157		-227
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	3,384	3,157		-227

特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	~	令和2年度
------	-------	------	-------	---	-------

部重点施策における目標

生涯学習の推進に努めます。

事業開始の背景・経緯

犯罪や非行のない明るく安全で住みよい地域社会を実現するため、市民の防犯意識を高める。

事業概要

少年補導委員による街頭補導活動 3,157千円  
 青少年問題協議会の開催 0千円

担当部署	15200000 市民生活部 市民相談	担当課長	畠山 夕子
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

少年の非行を防止するため、街頭補導活動等を行い、青少年を取り巻く環境の浄化を図る。

少年補導委員

- ・36班（1班3名前後）の編成にて街頭補導活動
- ・街頭（駅、公園、ゲームセンター、大型店舗等）を巡回、必要により声かけ、補導を実施
- ・活動は1班、月1回程度
- ・任期は2年（R2.4.1委嘱）、学校や地域からの推薦者等を委嘱
- ・委員数 88人（内訳：教員34人、地域推薦46人、市職員等8人）  
 （地区別：花巻58人、大迫7人、石鳥谷16人、東和7人）

主任少年補導委員

- ・主任少年補導委員（会計年度任用職員）を置き、少年補導委員の活動に関する事務を総括

岩手県少年センター連絡協議会

- ・県内の少年センターを設置する自治体で構成する当協議会に加入
- ・各種研修会への参加や情報交換を実施

事業費

1節 報酬（会計年度任用職員）	1,857,132円
3節 職員手当等（会計年度任用職員期末手当）	162,498円
4節 共済費（社会保険料等）	318,104円
7節 報償費（少年補導委員報酬）	681,600円
8節 費用弁償（旅費、通勤手当）	26,000円
10節 需用費（消耗品費）	99,483円
11節 役務費（郵便料）	4,536円
18節 負担金（岩手県少年センター連絡協議会負担金）	7,200円
計	3,156,553円

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	05	01	104350	青少年活動推進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		1,889	2,632		743
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	1,889	2,632		743

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標
生涯学習の推進

事業開始の背景・経緯
青少年の育成環境を向上させるとともに、仲間づくりや郷土についての理解を深め、児童・生徒・青少年の「ひとづくり」を推奨する。

事業概要
はなまき！おもしろ探検隊開催 6回 99千円 青少年関係団体支援 ・青少年関係団体（3団体）への補助 185千円 成人式開催 2,134千円 ・式典の部（市主催）、記念行事の部（成人式記念行事実行委員会主催） 共通事業 214千円

担当部署	18100000 生涯学習部 生涯学習	担当課長	佐々木正晴
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1
青少年活動推進事業費 2,632千円（前年度比 +743千円） 1 「はなまき！おもしろ探検隊」 99千円（前年度比 41千円） 市内小学校を対象に学区を越えた交流と花巻の魅力ある地域資源を活用した体験や遊びを通じて、郷土を愛する心を育む。 6月～11月 全6回（仕事体験、キャンプ、アート体験など） 2 青少年関係団体への補助 185千円（前年度比 24千円） 負担金補助及び交付金（青少年関係団体への活動支援） ・ガールスカウト 30千円 ・少年少女発明クラブ 150千円 ・花巻市青少年育成市民会議【石鳥谷】 5千円 3 成人式 2,134千円（前年度 +633千円） 成人式の開催に係る経費 R3会場 文化会館から総合体育館に変更 4 共通経費 214千円